

IV 包括積算編

第1章 配水管布設工事

第1. 総 則

1. 適用範囲

主体工事が呼び径300mm以下の配水管布設工事および既設配水管撤去工事において、包括積算方式により施工数量を算定した場合に適用する。

2. 包括工種内訳

工 種 区 分	包 括 内 訳 (工種)	摘 要
管 布 設 工 (管工包括) (m当り)	管布設工(管据付工、管継手工、管切断工、挿口加工工、挿口リング取付工、ポリエチレンスリーブ取付工、明示テープ取付工、埋設標識シート設置工を含む)、制水弁設置工(フランジ継手工、制水弁据付工、弁室類築造工を含む)、消火栓設置工(フランジ継手工、消火栓取付工、弁室類築造工を含む)	口径：75～300mm
管 布 設 工 (管工・土工包括) (m当り)	管布設工(管工包括)、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、一次本復旧工	口径：75～300mm
管 撤 去 工 (m当り)	管撤去工(管切断・小運搬を含む)、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、一次本復旧工	口径：75～300mm
不断水連絡工 (配水管) (箇所当り)	舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、一次本復旧工、矢板工、ポリエチレンスリーブ取付工、不断水連絡工、不断水連絡材料	本管口径： 75～300mm 分岐口径 75～300mm
離脱防止金具取付工 (箇所当り)	舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、一次本復旧工、矢板工、ポリエチレンスリーブ取付工、離脱防止金具取付工、離脱防止金具取付材料	口径：75～300mm
洗 浄 排 水 工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、管布設工(継手含む)、管撤去工、一次本復旧工、管材損料	口径：75～150mm 200～300mm 型工：5－23型 0－10型
仮栓止工(材工共) (箇所当り)	管継手工、人力木杭打工、管材損料	口径：75～300mm

工 種 区 分	包 括 内 訳 (工種)	摘 要
仮フランジ栓止工 (材工共) (箇所当り)	管継手工、人力木杭打工、管材損料	口径：75～300mm
仮排水（消火）栓止工 (材工共) (箇所当り)	管継手工、人力木杭打工、消火栓設置工、弁室類築造工、管据付工、管撤去工、管材損料	口径：75～300mm
給水管布設工 (道路部) (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、給水管布設工、給水管材料（金属類を除く）、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 口径：13～200mm
給水管布設工 (宅内) (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、人力掘削工、人力埋戻工、舗装残滓等処分工、給水管布設工、給水管材料（金属類を除く）、宅内モルタル復旧工、宅内タイル復旧工	接合替工事 口径：13～75mm
給水管撤去工 (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、管撤去工（管切断、小運搬含む）、ビニル管等処分工、一次本復旧工	接合替工事 口径：13～300mm
分水栓取付工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、分水栓取付工、分水栓取付材料、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 分水栓・サドル付分水栓
不断水連絡工 【接合替】 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、不断水連絡工、割T字管取付材料、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 分岐口径 40～50mm
分水栓栓止工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、分水栓栓止工、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 分水栓・サドル付分水栓
割T字管撤去工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、割T字管撤去工、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 口径：75～400mm
フランジ栓止工【接合替】 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、フランジ栓止工、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事

工 種 区 分	包 括 内 訳 (工種)	摘 要
パイプエンド設置工 (材工共) 【接合替】 (箇所当り)	ポリエチレン管継手工、ポリエチレン管用金属継手パイプエンド材料	接合替工事 口径：25～50mm
仮管分岐工【～φ50】 仮管分岐設置撤去工【φ75～】 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、矢板工、不断水連絡工、仮管分岐材料、弁室類築造工、仮管撤去工	仮管工事 分岐口径： 40～150mm
仮管布設撤去工 (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、給水管布設工、給水管撤去工、一次本復旧工、ビニル管処分工	仮管工事 口径：25～150mm
仮接合替工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、一次本復旧工、給水管布設工、給水管撤去工、ビニル管処分工、残留塩素検査薬	仮管工事
仮管消火栓設置撤去工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、一次本復旧工、弁室類築造工、管布設工(継手含む)、消火栓設置撤去工、管撤去工、ビニル管処分工、仮管消火栓材料	仮管工事 口径：75～150mm
仮管排水栓設置撤去工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、一次本復旧工、弁室類築造工、管布設工(継手含む)、消火栓設置撤去工、管撤去工、ビニル管処分工、仮管排水栓材料	仮管工事 口径：75～150mm
試験掘工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、一次本復旧工	口径：75～300mm

※一次本復旧工に未舗装 (G・U50) は含まない。

3. 包括工種の適用

(1) 共通事項

ア. 包括工種に含まれる各々の工種については、包括積算編に特段の記載がない限り、土木工事積算基準Ⅰ積算資料編、Ⅱ基礎積算編に記載の工種の適用を原則とする。

イ. 道路部における既設舗装構造は、幹線道路車道はA10-50、一般道路車道はA08-20、歩道はAF03-10、未舗装道路の4区分を標準とする。但し、仮管関連工種については、車道はA08-20、歩道はAF03-10の2区分とする。また、それぞれの仮復旧状態についても、同一の区分を適用する。

なお、道路区分の分類は下表を参考として決定すること。

車道		歩道	
幹線道路	一般道路	歩道	未舗装
A20-70	A08-35	AF03-10	G
A15-60	A15-20	NF09-10	U50
A15-45	A05-30	LF09-10	
A10-50	A08-20	HF09-10	
A05-45	A05-10	RF09-10	
CY25-10	N11-25	六角平板	
	N11-15	CK10-15	
	CY25	CK15-15	
		NK11-25	
		NK11-15	
		AK05-15	
		AK10-15	

ウ. 掘削深が1.50mを超える場合は矢板工を計上するものとする。なお、矢板の転用については考慮しないものとする。

エ. 残土処分工・舗装残滓等処分工における運搬距離は、工事場所を含む各行政区における区役所から処分地までの距離とする。

オ. 昼夜区分は行うものとする。

カ. 給水工事・仮管工事に関連する重機の選定にあたっては、特に指定のない限り、バックホウ0.08m³級及び、ダンプトラック2t車を使用するものとする。

キ. 包括工種における布設延長及び撤去延長の算定においては、平面延長を使用するものとする。

(2) 管布設工（管工包括）（管土工包括）

ア．管布設工の各口径の継手形式は、N S形継手及びG X形継手の2種類を標準とし、継手の選定は、工事の目的・用途により選択する。ただし、 $\phi 300\text{mm}$ については、N S形継手のみとする。なお、各継手形式内にK S継手を含むものとする。

イ．管据付工は、ポリエチレンスリーブ取付有り、埋設標識シート設置ありを標準とする。

ウ．管継手工は、N S形継手及びG X形継手を標準とし、直部、異形部、継輪部をそれぞれ計上する。継手の選定は、工事の目的・用途により選択する。

エ．挿口加工工・管切断工は、N S形継手又はG X形継手を標準とし、管切断・溝切り同時とする。継手の選定は、工事の目的・用途により選択する。

オ．管切断工（管切断のみ）は、铸铁管（新管）・K形継手を標準とし、管端面防食工を含むものとする。

カ．制水弁設置工は、フランジ継手工、制水弁据付工及び弁室類築造工を含むものとし、制水弁据付工は铸铁製制水弁据付工、弁室類築造工はレジンコンクリートブロック使用を標準とする。

キ．消火栓設置工は、フランジ継手工、消火栓取付工及び弁室類築造工を含むものとし、弁室類築造工はレジンコンクリートブロック使用を標準とする。なお、排水栓設置については消火栓設置工に含むものとする。

ク．空気弁の取付は、別途積上げるものとする。

ケ．重機選定については、掘削幅の変化毎に選定するものとし、路線単位の固定は行わない。

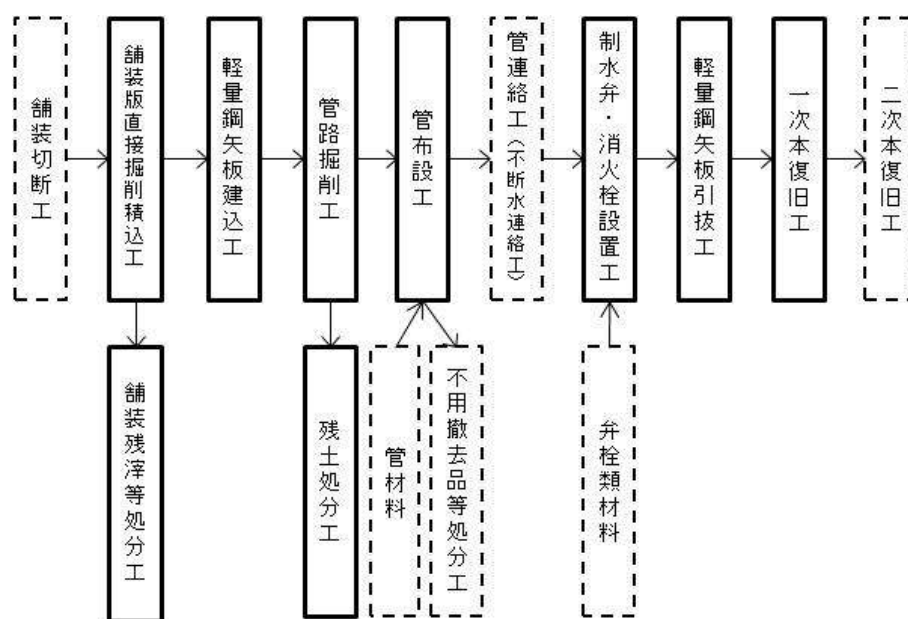
コ．矢板工は掘削深に応じ、適切な種別を選択すること。なお、掘削深は土被に管外径を加算したものとする。

サ．G X形における管継手工については、P-Link、G-Linkによる接合は行わないことを標準とする。（P-Link、G-Linkを局所的に用いた場合においても、別途積み上げは行わない）

シ．埋戻工は改良土使用を標準とする。

ス．掘削幅の算定にあたっては、直管部を標準とする。

セ. 施工フロー（管土工包括）は下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ソ. 標準数量表（管工包括）

(10m当り)

工種名称	単位	φ 75mm	φ 100mm	φ 150mm	φ 200mm	φ 300mm
管 布 設 工						
管 据 付 工	m	10	10	10	10	10
挿口加工工・管切断工	箇所	0.59	0.71	0.92	0.83	1.00
管継手工（直部）	箇所	2.37	2.52	2.02	2.16	1.91
管継手工（NS形異形部）※1	箇所	1.34	1.59	2.21	1.98	2.58
管継手工（GX形異形部）※2	箇所	2.06	2.01	2.77	2.34	3.10
管継手工（継輪部）※1	箇所	0.12	0.09	0.09	0.07	0.07
管切断工（管切断のみ）	箇所	0.26	0.21	0.47	0.16	0.43
管継手工（KS継手）	箇所	0.86	0.72	1.64	0.57	1.61
制 水 弁 設 置 工						
フランジ継手工※1	箇所	0.60	0.33	0.48	0.29	0.45
制 水 弁 据 付 工	箇所	0.25	0.16	0.24	0.15	0.22
弁 室 類 築 造 工	箇所	0.25	0.16	0.24	0.15	0.22
消 火 栓 設 置 工						
消 火 栓 取 付 工	箇所	0	0.06	0.08	0.10	0.08
フ ラ ン ジ 継 手 工	箇所	0	0.04	0.05	0.07	0.04
弁 室 類 築 造 工	箇所	0	0.06	0.08	0.10	0.08

※1 継手形式がNS形継手の場合のみ適用する。

※2 継手形式がGX形継手の場合のみ適用する。

タ．標準数量表（管工・土工包括）

（10m当り）

工種名称	単位	数量	
管 布 設 工（管 工 包 括）	m	10.00	
舗 装 版 直 接 掘 削 積 込 工	m ²	掘削幅×10.00	①
管 路 掘 削 工	m ³	①（土被+管外径 ^{※2} －舗装厚）	②
管 路 埋 戻 工	m ³	①（土被+管外径 ^{※2} －一次復旧厚）－管体体積	
舗装残滓等処分工（A s）	m ³	①×既設舗装版厚	
舗装残滓等処分工（路盤廢材）	m ³	①×既設路盤厚	③
残 土 処 分 工	m ³	②－③	
一 次 本 復 旧 工	m ²	①	
矢板工（設置・撤去） ^{※1}	m	20.00	

※1 矢板工は、掘削深が1.50mを超える場合に計上する。

※2 管外径は、小数第3位までとし第4位を四捨五入する。

（注） 各工種の計算結果は、小数第2位までとし第3位四捨五入とする。

(3) 管撤去工

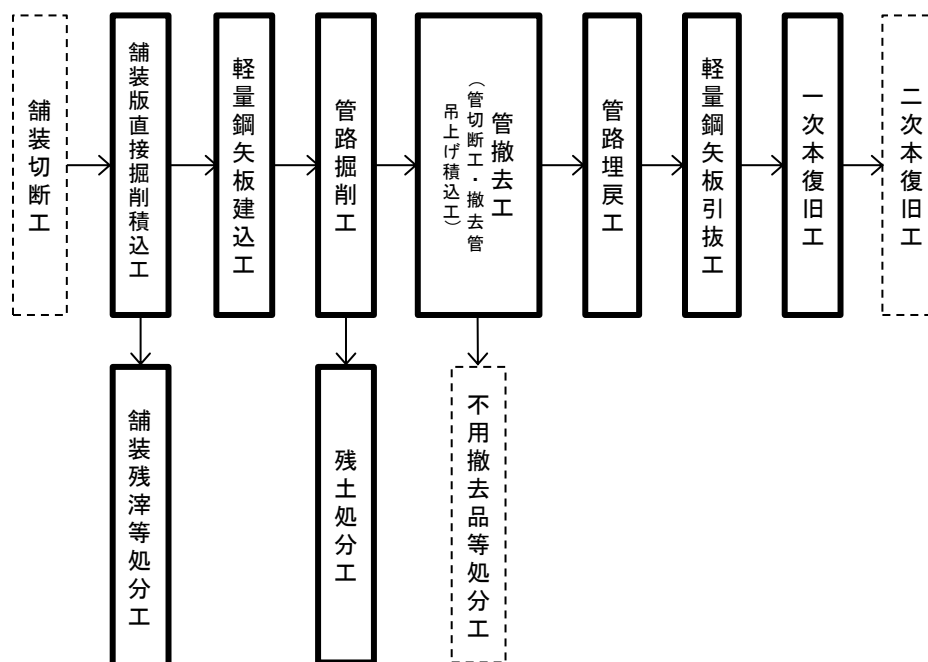
ア. 撤去管の管種については、鋳鉄管（F C）を標準とする。

イ. 重機選定については、掘削幅の変化毎に選定するものとし、路線単位の固定は行わない。

ウ. 矢板工は掘削深に応じ、適切な種別を選択すること。なお、掘削深は土被に管外径の1/2を加算したものとする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表

(10m当り)

工種名称	単位	数量	
管撤去工（管切断・小運搬含む）	m	10.00	
舗装版直接掘削積込工	m ²	掘削幅×10.00	①
管路掘削工	m ³	①（土被+管外径/2 ^{※2} －舗装厚）－管体体積/2	②
管路埋戻工	m ³	①（土被+管外径/2 ^{※2} －一次復旧厚）+管体体積/2	
舗装残滓等処分工（As）	m ³	①×既設舗装版厚	
舗装残滓等処分工（路盤廃材）	m ³	①×既設路盤厚	③
残土処分工	m ³	②－③	
一次本復旧工	m ²	①	
矢板工（設置・撤去） ^{※1}	m	20.00	

※1 矢板工は、掘削深が1.50mを超える場合に計上する。

※2 管外径/2は、小数第3位までとし第4位四捨五入する。

(注) 各工種の計算結果は、小数第2位までとし第3位四捨五入する。

(参考)

口径 (mm)	管外径(mm)	10m当り管 体体積(m³)	1/2管体体積 (m³)	掘削幅※ ¹ (m)
75	93.0	0.07	0.04	0.60(0.70)
100	118.0	0.11	0.06	0.65(0.75)
125	143.0	0.16	0.08	0.70(0.80)
150	169.0	0.22	0.11	0.70(0.80)
200	220.0	0.38	0.19	0.75(0.85)
300	322.8	0.82	0.41	0.85(0.95)
※1 掘削幅の()は矢板ありの場合に適用する。				

(4) 不断水連絡工（配水管）

ア. 不断水連絡工（配水管）は、既設配水管より不断水工法において分岐を行う工事に適用する。

イ. 重機選定については、下表を標準とする。

分岐口径	75	100	150	200	300
積算重機	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.28m ³ －4t	0.45m ³ －10t

※表中の積算重機は「バックホウ（クローラ型）－ダンプトラック」を示す。

ウ. 不断水分岐材料については見積によるものとし、管材費として取り扱う。ただし、φ300×300 の分岐については、材工管理費共の見積によるものとし、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

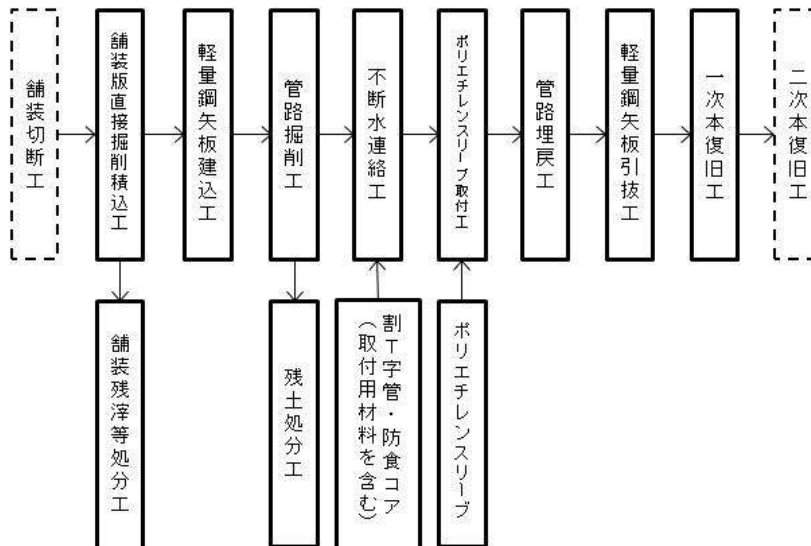
オ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

カ. 防食コアは下表のとおり計上する。

分岐口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
防食コア	○	○	○	×	×

※○：計上あり、×：計上なし

キ. 施工フローは下記を標準とする。



ク．標準数量表

φ 75×75, φ 100×75, φ 100×100, φ 150×75, φ 150×100, φ 150×150 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.90	0.90	0.90	－
管路掘削工		m ³	1.24	1.15	1.20	1.22
管路埋戻工	改良土	m ³	0.79	0.97	1.15	1.13
残土処分工		m ³	0.79	0.97	1.10	1.22
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.45	0.18	0.09	－
一次本復旧工		m ²	0.90	0.90	0.90	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 75×75, φ 100×75, φ 100×100, φ 150×75, φ 150×100, φ 150×150 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.90	0.90	0.90	－
管路掘削工		m ³	1.58	1.60	1.65	1.67
管路埋戻工	改良土	m ³	1.13	1.42	1.60	1.58
残土処分工		m ³	1.13	1.42	1.55	1.67
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.45	0.18	0.09	－
一次本復旧工		m ²	0.90	0.90	0.90	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤0.9	m	3.20			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 200×75 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32	1.32	1.32	－
管路掘削工		m ³	1.80	1.67	1.73	1.77
管路埋戻工	改良土	m ³	1.14	1.40	1.67	1.64
残土処分工		m ³	1.14	1.40	1.60	1.77
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	－
一次本復旧工		m ²	1.32	1.32	1.32	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 200×75（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.32	1.32	1.32	－
管路掘削工		m3	2.30	2.33	2.39	2.43
管路埋戻工	改良土	m3	1.64	2.06	2.33	2.30
残土処分工		m3	1.64	2.06	2.26	2.43
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.13	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.66	0.26	0.13	－
一次本復旧工		m2	1.32	1.32	1.32	－
不断水連絡工（材工共）		箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤1.3	m	4.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 200×100，φ 200×150（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.38	1.38	1.38	－
管路掘削工		m3	1.88	1.74	1.81	1.85
管路埋戻工	改良土	m3	1.18	1.46	1.74	1.71
残土処分工		m3	1.18	1.46	1.67	1.85
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.69	0.28	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.38	1.38	1.38	－
不断水連絡工（材工共）		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 200×100，φ 200×150（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.38	1.38	1.38	－
管路掘削工		m3	2.41	2.43	2.50	2.54
管路埋戻工	改良土	m3	1.71	2.15	2.43	2.40
残土処分工		m3	1.71	2.15	2.36	2.54
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.69	0.28	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.38	1.38	1.38	－
不断水連絡工（材工共）		箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤1.3	m	4.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 200×200 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.43	1.43	1.43	－
管路掘削工		m3	1.95	1.81	1.88	1.92
管路埋戻工	改良土	m3	1.24	1.52	1.81	1.78
残土処分工		m3	1.24	1.52	1.74	1.92
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.43	1.43	1.43	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 200×200 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.43	1.43	1.43	－
管路掘削工		m3	2.50	2.52	2.60	2.64
管路埋戻工	改良土	m3	1.78	2.24	2.52	2.50
残土処分工		m3	1.78	2.24	2.46	2.64
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.43	1.43	1.43	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	4.20			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 300×75, φ 300×100, φ 300×150, φ 300×200, φ 300×300 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.80	1.80	1.80	－
管路掘削工		m3	2.42	2.24	2.33	2.38
管路埋戻工	改良土	m3	1.52	1.88	2.24	2.20
残土処分工		m3	1.52	1.88	2.15	2.38
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.18	0.14	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.90	0.36	0.18	－
一次本復旧工		m2	1.80	1.80	1.80	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

φ 300×75, φ 300×100, φ 300×150, φ 300×200, φ 300×300 (矢板あり)

(1 箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.80	1.80	1.80	－
管路掘削工		m ³	3.10	3.14	3.23	3.28
管路埋戻工	改良土	m ³	2.20	2.78	3.14	3.10
残土処分工		m ³	2.20	2.78	3.05	3.28
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.18	0.14	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.90	0.36	0.18	－
一次本復旧工		m ²	1.80	1.80	1.80	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1.00			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.8	m	4.80			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			

(5) 離脱防止金具取付工

ア. 離脱防止金具取付工は、既設配水管に耐震補強金具又は継手補強金具を取り付ける工事に適用する。

イ. 重機選定については、下表を標準とする。

呼び径	75	100	150	200	300
積算重機	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.28m ³ －4t	0.45m ³ －10t

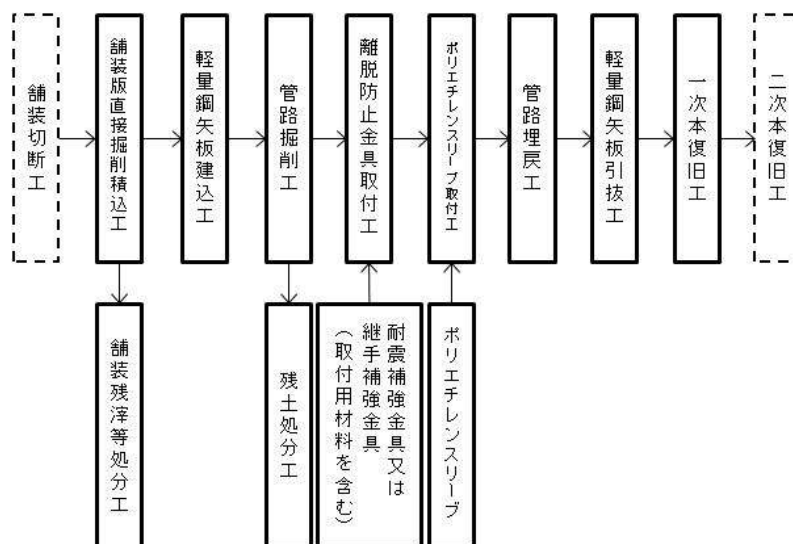
※表中の積算重機は「バックホウ（クローラ型）－ダンプトラック」を示す。

ウ. 離脱防止金具取付材料については、管路資材等価格調査によるものとするが、当該調査品目に含まれないものは見積によるものとし、いずれも管材費として取扱う。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

カ. 施工フローは下記を標準とする。



キ. 標準数量表（A・K形）

φ75（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.62	0.62	0.62	－
管路掘削工		m3	0.84	0.67	0.70	0.72
管路埋戻工	改良土	m3	0.53	0.55	0.67	0.65
残土処分工		m3	0.53	0.55	0.64	0.72
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装等処分工	路盤廃材	m3	0.31	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.62	0.62	0.62	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ75（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.62	0.62	0.62	－
管路掘削工		m3	0.96	0.98	1.01	1.03
管路埋戻工	改良土	m3	0.66	0.86	0.98	0.96
残土処分工		m3	0.66	0.86	0.95	1.03
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.31	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.62	0.62	0.62	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.18			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.65	0.65	0.65	－
管路掘削工		m3	0.88	0.70	0.73	0.75
管路埋戻工	改良土	m3	0.54	0.57	0.70	0.68
残土処分工		m3	0.54	0.57	0.66	0.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.07	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.33	0.13	0.07	－
一次本復旧工		m2	0.65	0.65	0.65	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.65	0.65	0.65	－
管路掘削工		m3	1.01	1.02	1.06	1.07
管路埋戻工	改良土	m3	0.67	0.89	1.02	1.01
残土処分工		m3	0.67	0.89	0.98	1.07
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.07	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.33	0.13	0.07	－
一次本復旧工		m2	0.65	0.65	0.65	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.24			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.78	0.78	0.78	－
管路掘削工		m3	1.05	0.83	0.87	0.90
管路埋戻工	改良土	m3	0.66	0.68	0.83	0.82
残土処分工		m3	0.66	0.68	0.80	0.90
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.16	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.78	0.78	0.78	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.78	0.78	0.78	－
管路掘削工		m3	1.20	1.22	1.26	1.29
管路埋戻工	改良土	m3	0.82	1.07	1.22	1.21
残土処分工		m3	0.82	1.07	1.19	1.29
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.16	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.78	0.78	0.78	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.54			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ200（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.83	0.83	0.83	－
管路掘削工		m3	1.11	0.87	0.92	0.94
管路埋戻工	改良土	m3	0.69	0.70	0.87	0.86
残土処分工		m3	0.69	0.70	0.84	0.94
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.07	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.42	0.17	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.83	0.83	0.83	－
離脱防止金具取付工（材工共）	金具耐震補強/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.83	0.83	0.83	－
管路掘削工		m3	1.27	1.29	1.33	1.35
管路埋戻工	改良土	m3	0.85	1.11	1.29	1.27
残土処分工		m3	0.85	1.11	1.25	1.35
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.07	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.42	0.17	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.83	0.83	0.83	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤1.3	m	3.64			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 300（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.92	0.92	0.92	－
管路掘削工		m3	1.19	0.93	0.98	1.00
管路埋戻工	改良土	m3	0.73	0.75	0.93	0.91
残土処分工		m3	0.73	0.75	0.88	1.00
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.46	0.18	0.09	－
一次本復旧工		m2	0.92	0.92	0.92	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 300（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.92	0.92	0.92	－
管路掘削工		m3	1.37	1.39	1.44	1.46
管路埋戻工	改良土	m3	0.91	1.21	1.39	1.37
残土処分工		m3	0.91	1.21	1.34	1.46
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.46	0.18	0.09	－
一次本復旧工		m2	0.92	0.92	0.92	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤1.3	m	3.84			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

ク．標準数量表（T形）

φ75（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.35	0.35	0.35	－
管路掘削工		m3	0.48	0.38	0.40	0.41
管路埋戻工	改良土	m3	0.29	0.31	0.38	0.37
残土処分工		m3	0.29	0.31	0.36	0.41
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.18	0.07	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.35	0.35	0.35	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ75（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.35	0.35	0.35	－
管路掘削工		m3	0.55	0.56	0.57	0.58
管路埋戻工	改良土	m3	0.36	0.48	0.56	0.55
残土処分工		m3	0.36	0.48	0.53	0.58
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.18	0.07	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.35	0.35	0.35	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	2.40			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.36	0.36	0.36	－
管路掘削工		m3	0.48	0.38	0.40	0.42
管路埋戻工	改良土	m3	0.31	0.32	0.38	0.38
残土処分工		m3	0.31	0.32	0.37	0.42
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.18	0.07	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.36	0.36	0.36	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.36	0.36	0.36	－
管路掘削工		m3	0.56	0.56	0.58	0.60
管路埋戻工	改良土	m3	0.38	0.50	0.56	0.56
残土処分工		m3	0.38	0.50	0.55	0.60
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.18	0.07	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.36	0.36	0.36	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	2.44			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.40	0.40	0.40	－
管路掘削工		m3	0.53	0.42	0.44	0.45
管路埋戻工	改良土	m3	0.33	0.34	0.42	0.41
残土処分工		m3	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.40	0.40	0.40	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.40	0.40	0.40	0.00
管路掘削工		m3	0.61	0.62	0.64	0.65
管路埋戻工	改良土	m3	0.41	0.54	0.62	0.61
残土処分工		m3	0.41	0.54	0.60	0.65
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	0.00
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	0.00
一次本復旧工		m2	0.40	0.40	0.40	0.00
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	2.54			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.43	0.43	0.43	－
管路掘削工		m3	0.56	0.44	0.46	0.48
管路埋戻工	改良土	m3	0.35	0.36	0.44	0.43
残土処分工		m3	0.35	0.36	0.43	0.48
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.22	0.09	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.43	0.43	0.43	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.43	0.43	0.43	－
管路掘削工		m3	0.65	0.65	0.68	0.69
管路埋戻工	改良土	m3	0.43	0.57	0.65	0.65
残土処分工		m3	0.43	0.57	0.64	0.69
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.22	0.09	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.43	0.43	0.43	－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.64			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

ケ．離脱防止金具取付歩掛表

（1 箇所当り）

口径（mm）	配管工（人）	普通作業員（人）	諸雑費
75	0.02	—	労務費の 1 %
100	0.02	—	労務費の 1 %
150	0.02	—	労務費の 1 %
200	0.02	—	労務費の 1 %
300	0.02	0.02	労務費の 1 %

(6) 洗浄排水工

ア. 本工種は、φ 300mm以下の新設布設管の洗浄排水に必要となる排水管の設置・撤去に適用する。

イ. 既設舗装構造は、A08-20又は、砂利道（O-10）の2区分とし、一次本復旧時における舗装構造は、それぞれ05 - 23型工、及びO-10型工とする。

ウ. バックホウの機種は山積0.13m³とする。

エ. 管材料は請負者調達とし、償却率は管類60回、継手類は30回とする。

オ. 標準数量表

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	φ 75～φ 150		φ 200～φ 300	
			A08-20	砂利道	A08-20	砂利道
舗装切断工	As t=15cm 以下	m	10.80	—	10.80	—
舗装版破碎工	As t=10cm 以下	m ²	6.48	—	7.02	—
管路掘削工		m ³	5.51	5.94	6.10	6.56
管路埋戻工	改良土	m ³	2.26	2.85	2.53	3.16
管路埋戻工	流用土	m ³	1.85	2.44	2.07	2.70
購入土	改良土	m ³	0.29	0.36	0.36	0.43
残土処分工		m ³	2.31	2.89	2.59	3.22
管布設工	φ 200	m	—	—	0.56	0.56
管布設工	φ 100	m	—	—	5.15	5.15
管布設工	φ 75	m	5.71	5.71	—	—
管撤去工	φ 200	m	—	—	0.56	0.56
管撤去工	φ 100	m	—	—	5.15	5.15
管撤去工	φ 75	m	5.71	5.71	—	—
一次本復旧工	05-23 又は O-10	m ²	6.48	6.48	7.02	7.02
舗装残滓等処分工	アスファルト殻	m ³	0.42	—	0.46	—
舗装残滓等処分工	路盤廢材	m ³	1.39	0.65	1.51	0.70
管材料	直管 φ 100(75)	k g	1.18	1.18	1.33	1.33
管材料	異形管 φ 200	k g	—	—	0.50	0.50
管材料	異形管 φ 100	k g	—	—	1.40	1.40
管材料	異形管 φ 75	k g	1.10	1.10	—	—
管材料	仕切弁 φ 100(75)	個	0.02	0.02	0.02	0.02
管材料	継手材K s φ 200	組	—	—	0.03	0.03
管材料	継手材K s φ 100(75)	組	0.20	0.20	0.20	0.20
管材料	継手材F φ 100(75)	組	0.07	0.07	0.07	0.07

※形質寸法欄の（ ）内はφ 75～φ 150の場合を示す。

(7) 仮栓止工（材工共）

ア．管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、K S形継手工1箇所とする。

イ．人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、次表を標準とする。

配水管口径 (mm)	使用本数 (本)	木杭末口 (cm)	根入れ深さ (m)	木杭長さ (m)
75	1	6	1.0	1.2
100	1	9	1.0	1.2
150	1	12	1.3	1.8
200	1	15	1.6	1.8
300	2	15	1.6	1.8

ウ．標準数量表

(1箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
K形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
K S形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
DK継輪	個	1	1	1	1	1	3回償却
DK栓	個	1	1	1	1	1	3回償却
K離脱防止押輪	個	1	1	1	1	1	3回償却
T頭ボルトナット (K・KF型用)※	本	8	8	12	12	16	3回償却
Kゴム輪	個	2	2	2	2	2	

※：φ 75:M16×85、φ 100・φ 150・φ 200:M20×100、φ 300:M20×110とする。

注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1／3とする。

(8) 仮フランジ栓止工 (材工共)

ア. 管継手工

継手形式については、F型継手工1箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(7)仮栓止工 (材工共) イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	1	
DフランジふたGF形	個	1	1	1	1	1	3回償却
GFガasket	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ用異形 (仮管用) ※1	本	4	4	6	8	-	3回償却
Dフランジボルトナット フッソ加工※2	本	-	-	-	-	10	3回償却

※1 : M16×75とする。

※2 : M20×85とする。

注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1／3とする。

(9) 仮排水（消火）栓止工（材工共）

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、K S形継手工2箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(7)仮栓止工（材工共） イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

名称	形質寸法	単位	数量				
			φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
K形継手工		箇所	1	1	1	1	1
K S形継手工		箇所	2	2	2	2	2
人力木杭打工		本	1	1	1	1	1
消火栓設置工	設置	箇所	1	1	1	1	1
F形継手工		箇所	1	1	1	1	1
弁室類築造工	設置	箇所	1	1	1	1	1
管据付工(小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
管撤去工(管切断 小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
仮排水(消火)栓止材料		式	1	1	1	1	1

エ. 標準材料表

(ア) 仮排水栓

(1箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) ※1	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個	1				
DKフランジ短管 RF・GF形	個	1				
T頭ボルトナットフランジ用異形フッ素加工 ※2	本	8				
GFガスケット	個	2				
排水栓鉄蓋	個	1				
調整リング	個	2				
レジンコンクリート上部壁 (A)	個	1				
レジンコンクリート下部壁 (C)	個	1				
レジンコンクリート底版 (P)	個	1				

※1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、平成26年4月土木工事共通仕様書（標準図書）参照

(注) 2. Kゴム輪・GFガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1/3とする。

(イ) 仮消火栓

(1 箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
D K継輪	個	1	1	1	1	1
D K栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) ※1	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
D Kフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個	1				
D Kフランジ短管 RF・GF形	個	1				
T頭ボルトナットフランジ用異形フッ素加工※2	本	8				
GFガasket	個	2				
円形消火栓鉄蓋 (単口) 本体	枚	1				
円形消火栓鉄蓋 (単口) ボルトナット	組	1				
調整リング	個	2				
レジンコンクリート上部壁 (A)	個	1				
レジンコンクリート下部壁 (C)	個	1				

※1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、平成26年4月土木工事共通仕様書 (標準図書) 参照

(注) 2. Kゴム輪・GFガasket以外については3回償却とし、基礎単価の1/3とする。

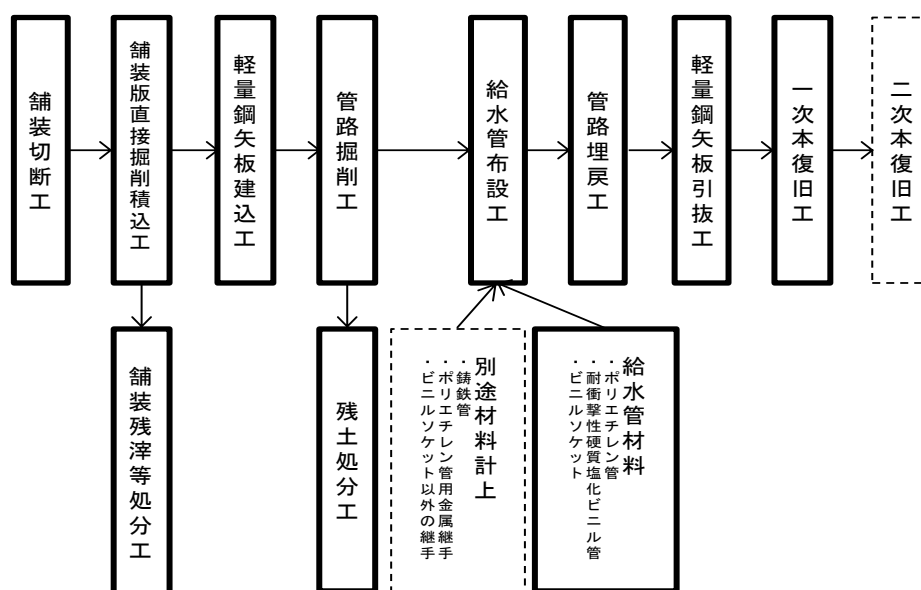
(10) 給水管布設工（道路部）

ア. 給水管材料について、ビニル管材料、ポリエチレン管（管のみ）については、工種に包含するものとし、ポリエチレン管用金属継手、鋳鉄管等の金属製材料については別途計上するものとする。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管・矢板なし）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.00			—
管路掘削工		m ³	5.35	3.95	4.20	4.35
管路埋戻工	改良土	m ³	2.85	2.95	3.95	4.35
残土処分工		m ³	2.85	2.95	3.70	4.35
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.50	0.40	0.15	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.50	1.00	0.50	—
一次本復旧工		m ²	5.00			—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00			—
給水管材料		m	10.00			—

カ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管・矢板あり）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.00			—
管路掘削工		m ³	7.35	7.45	7.70	7.85
管路埋戻工	改良土	m ³	4.85	6.45	7.45	7.85
残土処分工		m ³	4.85	6.45	7.20	7.85
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.50	0.40	0.15	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.50	1.00	0.50	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
一次本復旧工		m ²	5.00			—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00			
給水管材料		m	10.00			

給水管布設工 ビニル管

(10m当り)

工種名称	単位	φ 13 mm	φ 25 mm	φ 40 mm	φ 50 mm	φ 75 mm
硬質塩化ビニル管布設 据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
硬質塩化ビニル管布設 TS継手工	口	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
硬質塩化ビニル管切断工	口	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

給水管布設工 ポリエチレン管

(10m当り)

工種名称	単位	φ 25 mm	φ 40mm	φ 50mm
ポリエチレン管布設工 据付工	m	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管布設工 継手工	口	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管切断工	口	10.00	10.00	10.00

キ. 標準数量表（铸铁管・矢板なし）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	6.50			—
管路掘削工		m ³	6.96	5.14	5.46	5.66
管路埋戻工	改良土	m ³	3.66	3.79	5.09	5.66
残土処分工		m ³	3.71	3.84	4.81	5.66
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.65	0.52	0.20	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	3.25	1.30	0.65	—
一次本復旧工		m ²	6.50			—
給水管布設工	铸铁管	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00			

ク. 標準数量表（铸铁管・矢板あり）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	6.50			—
管路掘削工		m ³	9.56	9.69	10.01	10.21
管路埋戻工	改良土	m ³	6.26	8.34	9.64	10.21
残土処分工		m ³	6.31	8.39	9.36	10.21
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.65	0.52	0.20	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	3.25	1.30	0.65	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
一次本復旧工		m ²	6.50			—
給水管布設工	铸铁管	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00			

給水管布設工 铸铁管

（10m当り）

工種名称	単位	φ 75mm	φ 100mm	φ 150mm	φ 200mm
管据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00
管継手工（K形継手）	箇所	6.60	6.60	5.20	5.20
管切断工（管切断のみ）	箇所	0.90	0.90	1.00	1.00

ケ. 標準材料表

（1m当り）

ビニル管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 1m、H I ビニルソケット
ポリエチレン管	ポリエチレン管 I 種 1m

(11) 給水管布設工（宅内）

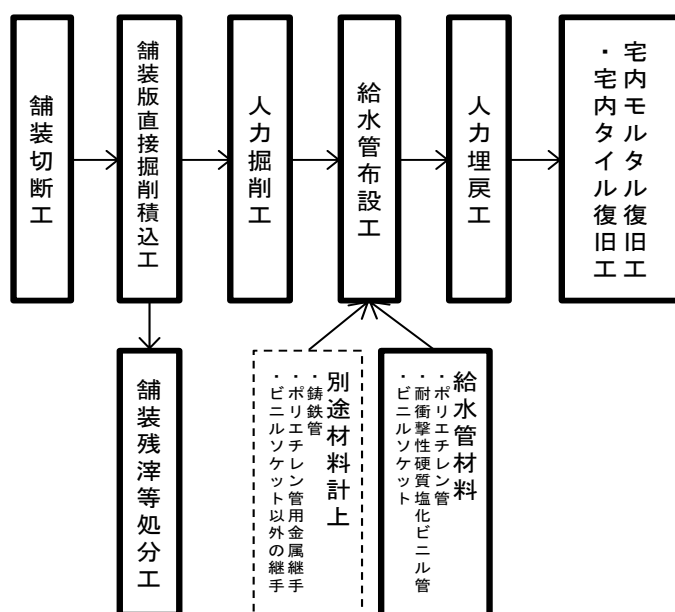
ア．宅内舗装は、アスファルト、コンクリート、モルタル、一般タイル、モザイクタイル、未舗装の6区分に分類し、現況復旧を標準とする。舗装厚は、モルタルについては3cm、アスファルト、コンクリート、タイル系については5cmを標準とする。

イ．タイル系舗装については、舗装切断工・舗装残滓等処分工の適用にあたっては、コンクリート系とする。

ウ．工種に包含する材料については、給水管布設（道路部）に準ずる。

エ．埋戻工は流用土使用を標準とする。

オ．施工フローは下記を標準とする。



(注) 1．本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2．その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ．標準数量表

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量		
			As/Co/タイル系	モルタル	未舗装
舗装切断工	アスファルト／コンクリート	m	20.00		
舗装版直接掘削・積込工	人力施工	m ²	3.00		
人力掘削工		m ³	0.75	0.81	0.90
人力埋戻工	流用土	m ³	0.75	0.81	0.90
舗装残滓等処分工	アスファルト／コンクリート	m ³	0.15	0.09	—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00		
給水管材料		m	10.00		
宅内モルタル復旧工 ／宅内タイル復旧工		m ²	3.00		

(12) 給水管撤去工

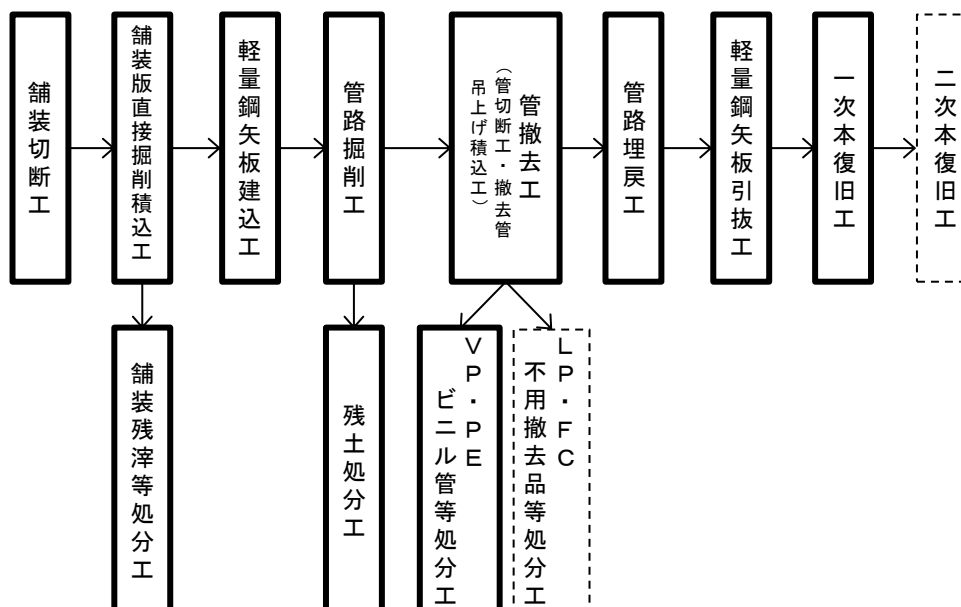
ア. 撤去管の管種及び口径区分は、下表から選択する。

管種 (記号)		口径区分	積算口径
①	ビニル管 (V P) ・ ポリエチレン管 (P E)	φ 40 以下	φ 25
		φ 50 以上	φ 50
②	鉛管 (L P)	φ 40 以下	φ 25
		φ 50 以上	φ 50
③	铸铁管 (F C)	φ 75～φ 300	区分ごとに計上

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板 I 型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ．標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管・矢板なし）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—	—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.00			—	—
管路掘削工		m ³	5.35	3.95	4.20	4.35	—
管路埋戻工	改良土	m ³	2.85	2.95	3.95	4.35	—
残土処分工		m ³	2.85	2.95	3.70	4.35	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.50	0.40	0.15	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.50	1.00	0.50	—	—
一次本復旧工		m ²	5.00			—	—
給水管撤去（管切断・運搬含む）		m	10.00				

カ．標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管、矢板あり）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—	—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.00			—	—
管路掘削工		m ³	7.35	7.45	7.70	7.85	—
管路埋戻工	改良土	m ³	4.85	6.45	7.45	7.85	—
残土処分工		m ³	4.85	6.45	7.20	7.85	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.50	0.40	0.15	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.50	1.00	0.50	—	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			—	—
一次本復旧工		m ²	5.00			—	—
給水管撤去（管切断・運搬含む）		m	10.00				

キ．標準数量表（铸铁管、矢板なし）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	6.50			—
管路掘削工		m ³	5.49	3.67	3.99	4.19
管路埋戻工	改良土	m ³	2.32	2.45	3.75	4.27
残土処分工		m ³	2.24	2.37	3.34	4.19
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.65	0.52	0.20	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	3.25	1.30	0.65	—
一次本復旧工		m ²	6.50			—
管撤去工（管切断・小運搬含む）	φ 75～φ 300	m	10.00			

ク．標準数量表（铸铁管、矢板あり）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	6.50			—
管路掘削工		m ³	9.39	9.52	9.84	10.04
管路埋戻工	改良土	m ³	6.22	8.30	9.60	10.12
残土処分工		m ³	6.14	8.22	9.19	10.04
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.65	0.52	0.20	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	3.25	1.30	0.65	—
一次本復旧工		m ²	6.50			—
管撤去工（管切断・小運搬含む）	φ75～φ300	m	10.00			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			

ケ．給水管撤去歩掛表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管）

(1m当り)

工種	規格	単位	数量
硬質塩化ビニル管布設 据付工		m	0.60
硬質塩化ビニル管切断		口	0.25
ビニル管等処分工（運搬費含む）	ビニル管・ポリエチレン管のみ	m	1.00

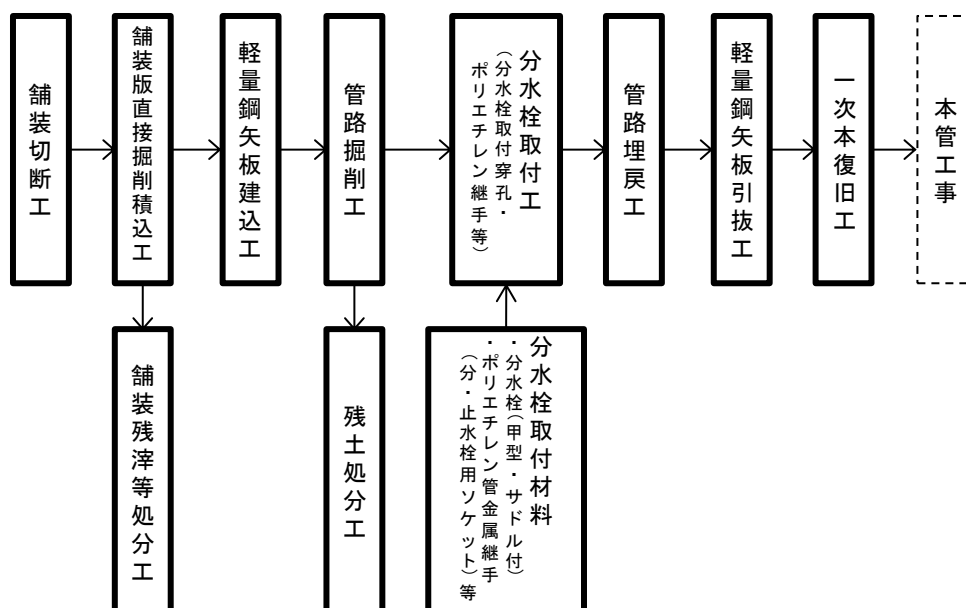
(13) 分水栓取付工

ア. 甲型分水栓を「分水栓」、鋳鉄管用サドル付分水栓、ビニル管用サドル付分水栓を「サドル付分水栓」に分類する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (分水栓・矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.50			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.56			—
管路掘削工		m ³	0.71	0.55	0.58	0.60
管路埋戻工	改良土	m ³	0.43	0.44	0.55	0.60
残土処分工		m ³	0.43	0.45	0.52	0.60
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.06	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.28	0.11	0.06	—
一次本復旧工		m ²	0.56			—
分水栓取付工		箇所	1			
分水栓取付材料	甲型	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.80			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.80			

カ. 標準数量表（分水栓・矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.50			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.56			—
管路掘削工		m ³	0.82	0.83	0.86	0.88
管路埋戻工	改良土	m ³	0.54	0.72	0.83	0.88
残土処分工		m ³	0.54	0.73	0.80	0.88
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.06	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.28	0.11	0.06	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.50			
一次本復旧工		m ²	0.56			—
分水栓取付工		箇所	1			
分水栓取付材料	甲型	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.80			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.80			

キ. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.10			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.53	0.41	0.43	0.45
管路埋戻工	改良土	m ³	0.32	0.33	0.41	0.45
残土処分工		m ³	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.42			—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1			
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1			
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.60			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.60			

ク．標準数量表（サドル付分水栓・矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.10			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.53	0.41	0.43	0.45
管路埋戻工	改良土	m ³	0.32	0.33	0.41	0.45
残土処分工		m ³	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.10			
一次本復旧工		m ²	0.42			—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1			
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1			
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.60			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.60			

ケ．標準材料表（分水栓取付材料）

（1箇所当り）

名称	単位	数量					
		分水栓	鋳鉄管用 サドル付分水栓			ビニル管用 サドル付分水栓	
			φ 25	φ 40	φ 50	φ 25	φ 40
分水栓	個	1	—	—	—	—	—
鋳鉄管用サドル付分水栓	個	—	1	1	1	—	—
ビニル管用サドル付分水栓	個	—	—	—	—	1	1
密着銅コア	個	—	1	1	1	—	—
ポリエチレン管用金属継手(分・止水栓用ナット)	個	1	1	1	1	1	1
残留塩素検査（DPD 試薬）	個	1					
給水管表示ピン	個	1					

(14) 不断水連絡工（接合替）

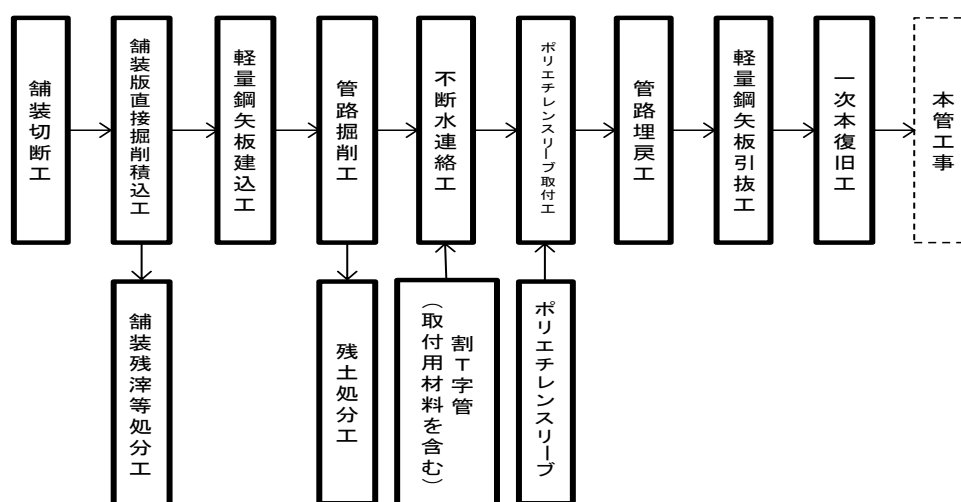
ア. 防食コアについては、配水管内面がエポキシ樹脂粉体塗装の場合はSUS製、モルタルライニングの場合は銅製を標準とする。防食コア取付費については、割T字管取付穿孔工に含むものとする。なお、当該工事又は継続する工事の中で撤去が予定されているもので、一時的に使用する場合防食コアの取付を省略することができる。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板I型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

ウ. 割T字管のボルト口径は、～φ150はM16、φ200～φ400はM20を標準とする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.10			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	1.67	1.30	1.37	1.41
管路埋戻工	改良土	m ³	1.01	1.04	1.30	1.41
残土処分工		m ³	1.02	1.04	1.24	1.41
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
一次本復旧工		m ²	1.32			—
不断水連絡工（材工共）	外ネジ型	箇所	1.00			
割T字管取付材料	φ50分岐/φ40分岐	式	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.20			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.20			

キ. 標準数量表（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.10			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	1.94	1.96	2.03	2.07
管路埋戻工	改良土	m ³	1.28	1.70	1.96	2.07
残土処分工		m ³	1.28	1.70	1.90	2.07
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	4.10			
一次本復旧工		m ²	1.32			—
不断水連絡工（材工共）	外ネジ型	箇所	1.00			
割T字管取付材料	φ50 分岐/φ40 分岐	式	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.20			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.20			

ク. 標準材料表

（1 箇所当り）

名称	単位	数量	
		φ40 分岐	φ50 分岐
割T字管（外ネジ型）	個	1	1
防食コア	個	1	1
ポリエチレン管金属継手（分・止水栓用ソケット1種）	個	1	1
亜鉛合金ナット（本管口径～φ300）	個	4	4
亜鉛合金ナット（本管口径φ400）	個	9	9
残留塩素検査薬	個	1	
給水管表示ピン	個	1	

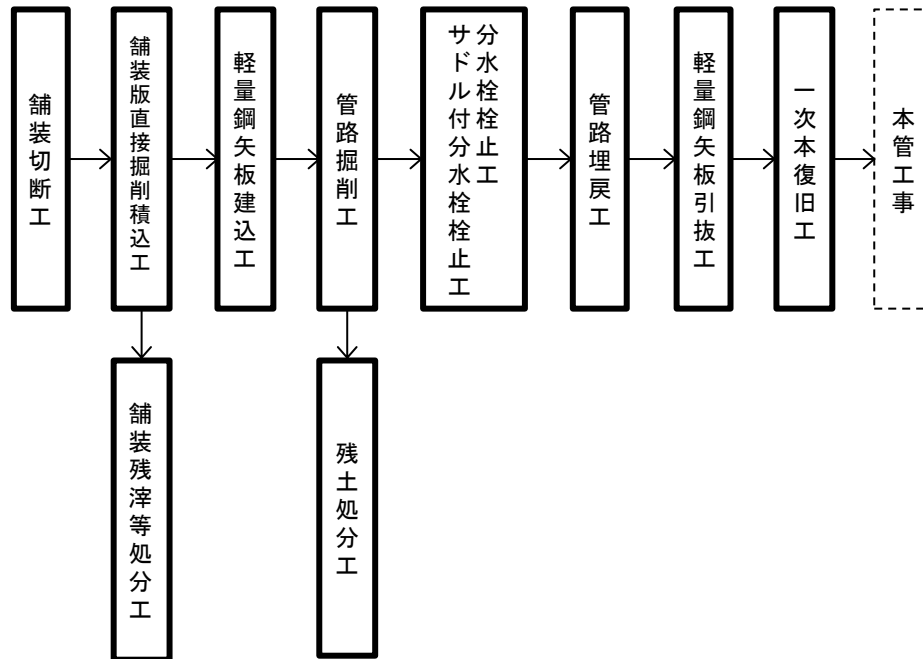
(15) 分水栓栓止工

ア. 甲型分水栓及び耐震防食型分水栓を「分水栓」、鋳鉄管用サドル付分水栓、ビニル管用サドル付分水栓を「サドル付分水栓」に分類する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (分水栓・矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.60			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.49	0.42	0.39	0.41
管路埋戻工	改良土	m ³	0.28	0.33	0.38	0.41
残土処分工		m ³	0.28	0.34	0.36	0.41
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.42			—
分水栓栓止工		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.60			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.60			

カ. 標準数量表（分水栓・矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.60			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.62	0.63	0.65	0.66
管路埋戻工	改良土	m ³	0.41	0.54	0.63	0.66
残土処分工		m ³	0.41	0.55	0.61	0.66
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.60			
一次本復旧工		m ²	0.42			—
分水栓栓止工		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.60			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.60			

キ. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.40			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.35			—
管路掘削工		m ³	0.41	0.35	0.33	0.34
管路埋戻工	改良土	m ³	0.24	0.28	0.31	0.34
残土処分工		m ³	0.22	0.27	0.29	0.34
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.18	0.07	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.35			—
サドル付分水栓栓止工		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

ク．標準数量表（サドル付分水栓・矢板あり）

（１箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.40			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.35			—
管路掘削工		m ³	0.51	0.52	0.54	0.55
管路埋戻工	改良土	m ³	0.34	0.45	0.52	0.55
残土処分工		m ³	0.33	0.45	0.50	0.55
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.18	0.07	0.04	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.40			
一次本復旧工		m ²	0.35			—
サドル付分水栓栓止工		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

(16) 割T字管撤去工

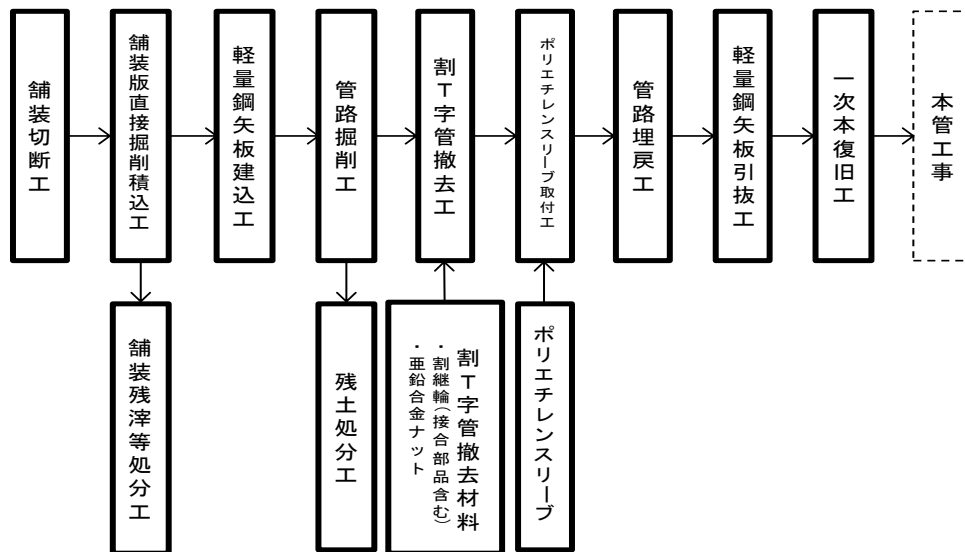
ア. 割T字管撤去工は、既設の割T字管を撤去し、割継輪を設置する工事に適用する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

ウ. 標準材料として、割継輪（接合部品含む）及び、亜鉛合金ナット（～φ200は6個、φ300、φ400は12個）を含むものとする。ボルト口径は、～φ150はM16、φ200～φ400はM20を標準とする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.60			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	1.78	1.54	1.48	1.52
管路埋戻工	改良土	m ³	1.12	1.28	1.41	1.52
残土処分工		m ³	1.12	1.28	1.35	1.52
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
一次本復旧工		m ²	1.32			—
割T字管撤去工（材工共）		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10			

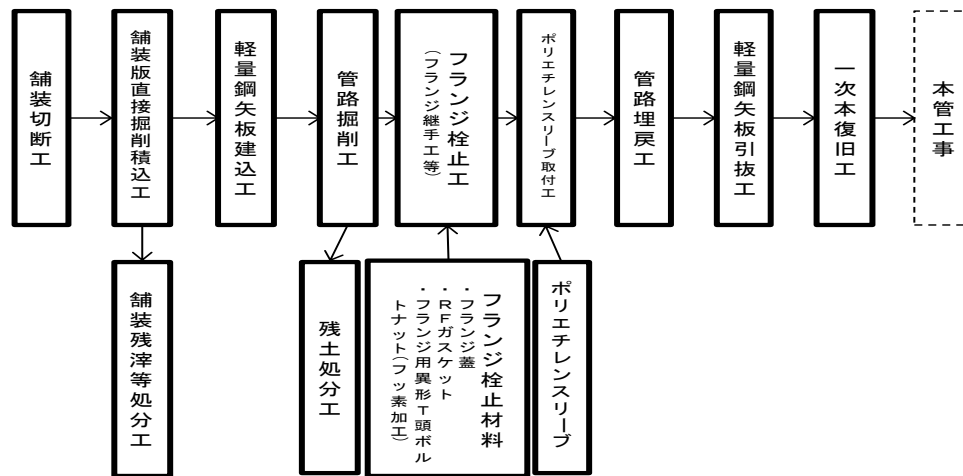
キ. 標準数量表（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.60			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	1.91	1.94	2.01	2.05
管路埋戻工	改良土	m ³	1.26	1.68	1.94	2.05
残土処分工		m ³	1.26	1.68	1.88	2.05
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 1.3	m	4.60			
一次本復旧工		m ²	1.32			—
割 T 字管撤去工（材工共）		箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10			

(17) フランジ栓止工【接合替】

- ア. フランジ栓止工【接合替】は、既設の割T字管（フランジ型／φ50 分岐）の分岐側におけるフランジ継手を離脱させ、フランジ蓋を設置する工事に適用する。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。
- ウ. 標準材料として、フランジ蓋、R F ガスケット、フランジ用異形 T 頭ボルトナットを含むものとする。
- エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは下記を標準とする。



- (注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	3.60			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.72			—
管路掘削工		m ³	0.84	0.71	0.68	0.70
管路埋戻工	改良土	m ³	0.48	0.57	0.64	0.70
残土処分工		m ³	0.48	0.57	0.61	0.70
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.07	0.06	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.36	0.14	0.07	—
一次本復旧工		m ²	0.72			—
フランジ栓止工（材工共）	φ50	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.60			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.60			

キ. 標準数量表（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	3.60			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.72			—
管路掘削工		m ³	1.06	1.07	1.11	1.13
管路埋戻工	改良土	m ³	0.70	0.93	1.07	1.13
残土処分工		m ³	0.70	0.93	1.04	1.13
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.07	0.06	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.36	0.14	0.07	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 1.3	m	3.60			
一次本復旧工		m ²	0.72			—
フランジ栓止工（材工共）	φ 50	箇所	1.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.60			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.60			

（18） パイプエンド設置工（材工共）【接合替】

ア. パイプエンド設置工（材工共）【接合替】は、既設給水管へ接続時にポリエチレン管（一次側）にパイプエンドを設置する工事に適用する。

イ. 管継手工については、「平成 27 年度水道事業実務必携 第一編 2－6－1 ポリエチレン管布設歩掛表」によるものとする。

ウ. 標準数量表

（1 箇所当り）

工種／資材名称	単位	数量		
		φ 25	φ 40	φ 50
ポリエチレン管継手工【接合替】	口	1	1	1
ポリエチレン管金属継手 パイプエンド	個	1	1	1

(19) 仮管分岐工【～φ50】／仮管分岐設置撤去工【φ75～】

ア. 仮管分岐工【～φ50】／仮管分岐設置撤去工【φ75～】は、既設配水管より仮管用の分岐を設置し、本体工事の完成後に当該分岐を撤去する工事に適用する。

イ. 仮管分岐材料のうち、鋳鉄管材料、ボルトナット、ソフトシール仕切弁、弁室材料については、3回償却とする。また、当該部分の撤去については、仮設配管の再使用目的撤去を標準とする。

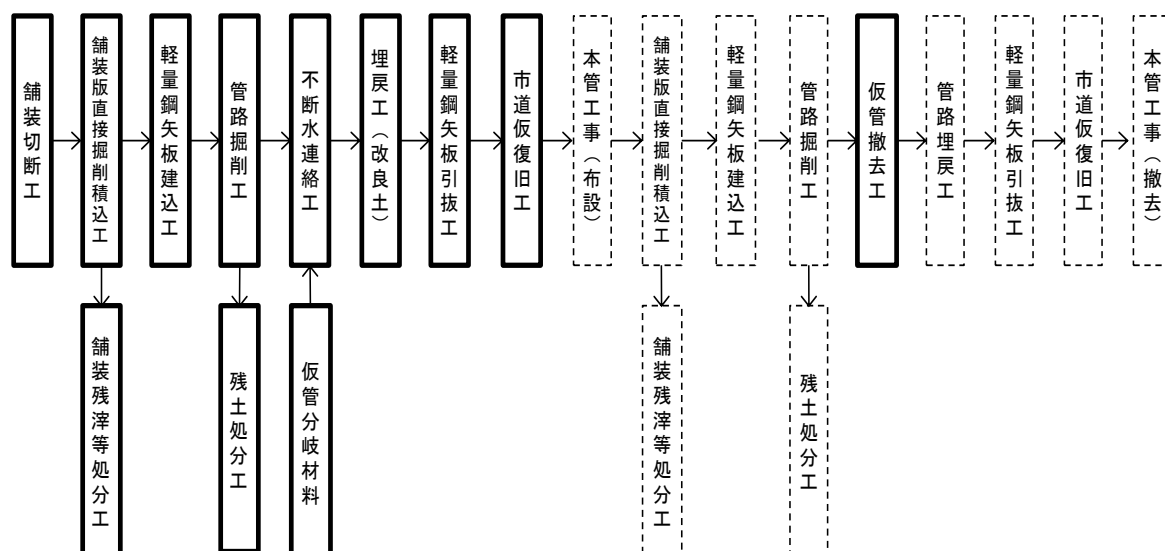
ウ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

エ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。

オ. 不断水連絡工において、防食コアは計上しないものとする。

カ. 分岐口径がφ75以上については、GF加工を行うこととする。

キ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ク. 標準掘削寸法表

配水管口径	掘削幅	掘削延長		掘削深	
		～φ50分岐	φ75以上分岐	矢板なし	矢板あり
mm	m	m	m	m	m
75	1.10	1.10	1.30	1.24	1.64
100	1.10	1.10	1.30	1.27	1.67
125	1.10	1.10	1.30	1.29	1.69
150	1.10	1.10	1.30	1.32	1.72
200	1.10	1.10	1.30	1.37	1.77
300	1.10	1.10	1.30	1.47	1.87

ケ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種名称	単位	数量	
		φ 40・φ 50	φ 75以上
舗装切断工	m	(掘削幅＋掘削延長)×2	
舗装版直接掘削積込工	m ²	掘削幅×掘削延長	
管路掘削工	m ³	掘削幅×掘削延長×(掘削深※ ¹ －既設舗装版厚)	
管路埋戻工	m ³	掘削幅×掘削延長×(掘削深※ ¹ －仮復旧厚)	
残土処分工	m ³	掘削幅×掘削延長×(掘削深※ ¹ －既設舗装厚)	
舗装残滓等処分工 (As)	m ³	掘削幅×掘削延長×既設舗装版厚	
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	掘削幅×掘削延長×既設路盤厚	
市道仮復旧工	m ²	掘削幅×掘削延長	
矢板工 (設置・撤去) ※ ² ※ ⁴	m	(掘削幅＋掘削延長)×2	
仮管分岐材料	式	1	
不断水連絡工 (材工共)	箇所	1	
弁室類築造工 (設置・撤去)	箇所	—	1
仮管撤去工 (鑄鉄管)	m	—	※ 3

※ 1 掘削深は土被に管外径を加算したものとする。

※ 2 矢板工は掘削深が1.50mを超える場合に計上する。

※ 3 φ 75 : 0.36、φ 100 : 0.37、φ 150 : 0.40とする。

※ 4 矢板工を計上する場合の支保工は (掘削幅 B ≤ 1.3) とする。

(注) 各工種の計算結果は、小数第2位までとし第3位四捨五入する。

コ. 標準材料表 (φ 40分岐・φ 50分岐)

(1 箇所当り)

資材名称	形式寸法	単位	数量	
			φ 40	φ 50
ビニル管用ユニオンナット		個	2	2
S ベンド	HIVP	個	1	1
ソフトシール止水栓		個	1	1
止水栓用伸縮継手		個	2	2
ソケット	HIVP	個	2	2
止水栓ボックス	150	個	1	1
止水栓ボックス (継足用)	150	個	1	1

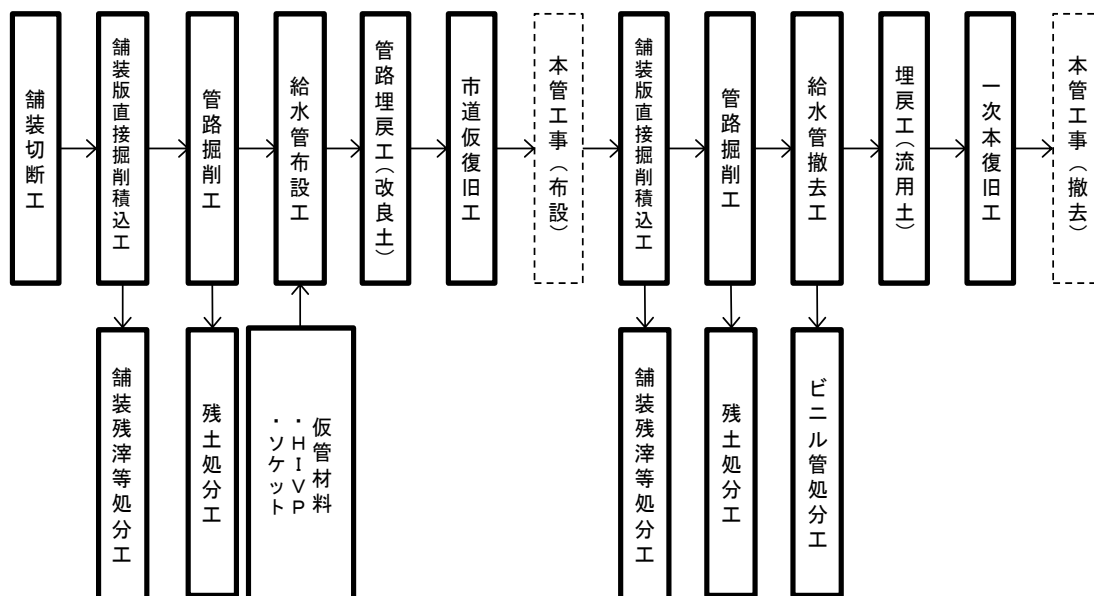
サ. 標準材料表 (φ75分岐・φ100分岐・φ150分岐)

(1箇所当り)

資材名称	単位	数量			備考
		φ75	φ100	φ150	
ソフトシール仕切弁 (浅層埋設用)	個	1			3回償却
DK短管1号 GF形	個	1			3回償却
VCソケット	個	1			
K (A) 押輪	個	1			3回償却
K ゴム輪	個	1			
GF ガスケット	個	2			
T頭ボルトナット (K・KF形用)	本	4	4	6	3回償却
フランジ用異形T頭ボルトナット (仮管用)	本	8	8	12	3回償却
制水弁鉄蓋	個	1			3回償却
調整リング50mm	個	2			3回償却
調整リング100mm	個	1			3回償却
レジンコンクリート上下部壁 (CA)	個	1			3回償却
レジンコンクリート底版 (P)	個	1			3回償却

(20) 仮管布設撤去工

- ア. 仮管布設撤去工は、仮管を布設し、本体工事完成後に当該仮管を撤去する工事に適用する。
- イ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。
- ウ. 施工フローは下記を標準とする。



- (注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

エ. 標準数量表 (車道部)

(10m当り)

工種名称	単位	数量					
		φ 25	φ 40	φ 50	φ 75	φ 100	φ 150
舗装切断工	m	20.00					
舗装版直接掘削積込工	m ²	10.00					
管路掘削工	m ³	2.59	2.71	2.80	3.02	3.21	3.59
管路埋戻工 (改良土)	m ³	0.41	0.49	0.55	0.70	0.82	1.08
管路埋戻工 (発生土)	m ³	0.18	0.22	0.25	0.32	0.39	0.51
残土処分工	m ³	0.26	0.34	0.40	0.55	0.67	0.93
舗装残滓等処分工 (As)	m ³	0.65					
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	2.00					
市道仮復旧工	m ²	5.00					
一次本復旧工	m ²	5.00					
給水管布設工	m	10.00					
給水管撤去工	m	10.00					
ビニル管処分工	m	10.00					

オ. 標準数量表（歩道部）

（10m当り）

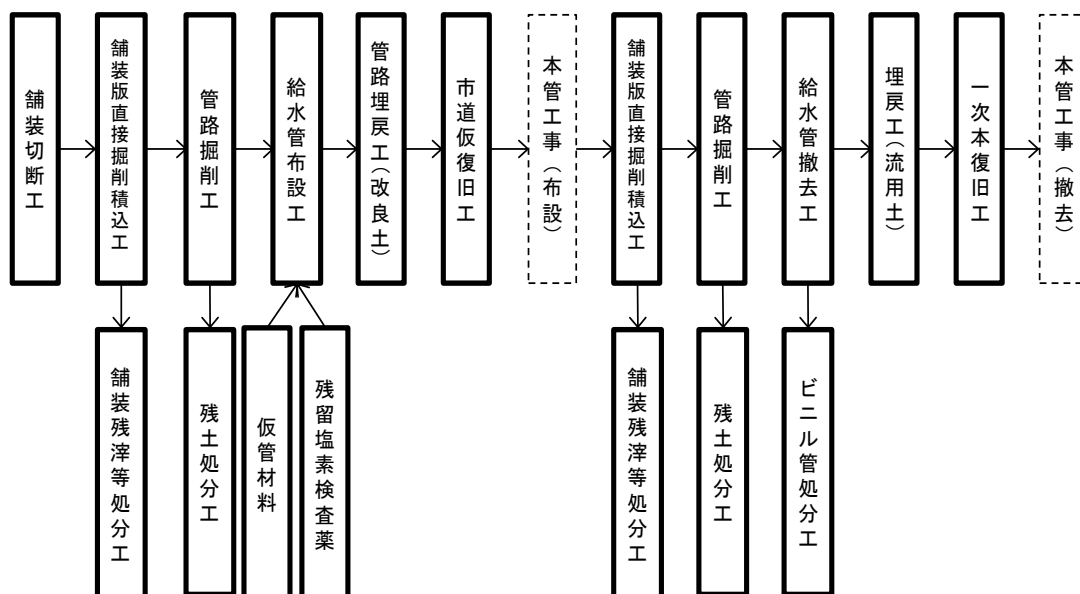
工種名称	単位	数量					
		φ 25	φ 40	φ 50	φ 75	φ 100	φ 150
舗装切断工	m	20.00					
舗装版直接掘削積込工	m ²	10.00					
管路掘削工	m ³	2.94	3.06	3.15	3.37	3.56	3.94
管路埋戻工（改良土）	m ³	1.51	1.59	1.65	1.80	1.92	2.18
管路埋戻工（発生土）	m ³	1.18	1.22	1.25	1.32	1.39	1.51
残土処分工	m ³	1.01	1.09	1.15	1.30	1.42	1.68
舗装残滓等処分工（As）	m ³	0.30					
舗装残滓等処分工（路盤廃材）	m ³	0.50					
市道仮復旧工	m ²	5.00					
一次本復旧工	m ²	5.00					
給水管布設工	m	10.00					
給水管撤去工	m	10.00					
ビニル管処分工	m	10.00					

(21) 仮接合替工

ア. 仮接合替工は、仮管布設撤去工により設置した仮管から給水管を分岐させ、既設の給水管に接続する工事に適用する。

イ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。

ウ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

エ. 標準数量表 (仮接合替工)

(1箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	
			車道	歩道
舗装切断工	アスファルト	m	1.10	
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.30	
管路掘削工		m ³	0.16	0.18
管路埋戻工	改良土	m ³	0.06	0.09
管路埋戻工	発生土	m ³	0.05	0.08
残土処分工		m ³	0.05	0.08
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.02	0.01
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.06	0.02
市道仮復旧工		m ²	0.15	
一次本復旧工		m ²	0.15	
給水管布設工	材工共	箇所	1.00	
給水管撤去工		箇所	1.00	
ビニル管処分工		m	0.50	
残留塩素検査薬		箇所	1.00	

オ. 標準数量表（給水管布設工）

（1 箇所当り）

工種名称	形質寸法	単位	数量
硬質塩化ビニル管 据付工	φ 25	m	0. 50
硬質塩化ビニル管 T S継手工	φ 40	口	2. 00
硬質塩化ビニル管 T S継手工	φ 25	口	5. 00
硬質塩化ビニル管 切断工	φ 25	口	2. 00
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	φ 25 材料費	m	0. 50
H I エルボ	φ 25 材料費	個	2
H I チーズ	φ 40×25 材料費	個	1
ビニル管用修繕金具	φ 25 材料費	個	1

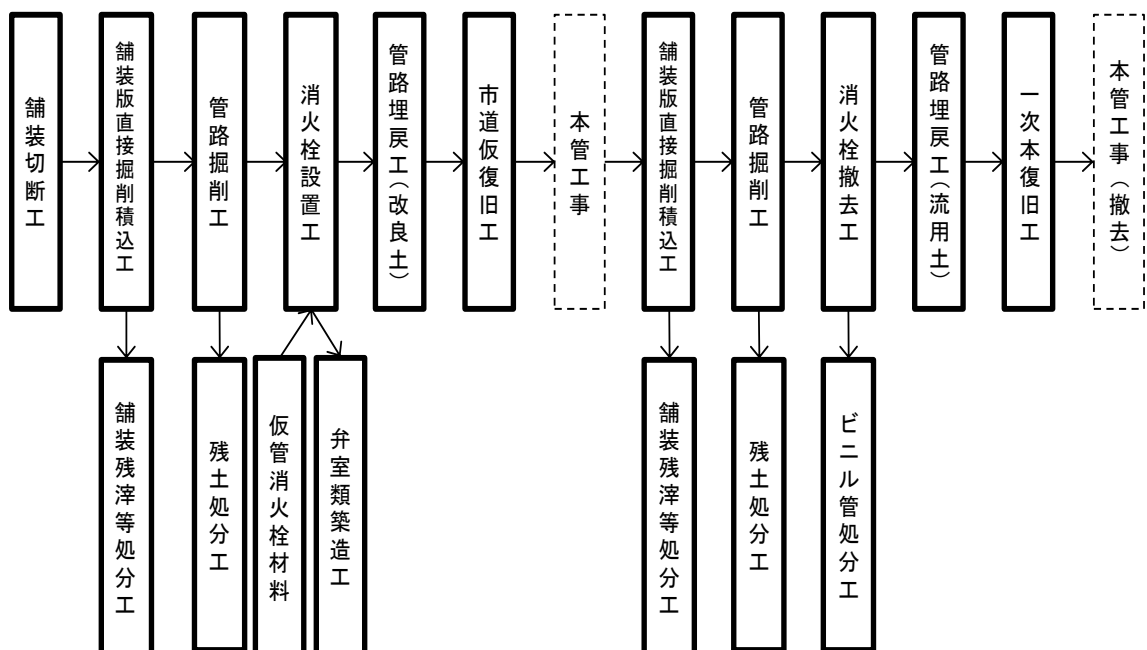
カ. 標準数量表（給水管撤去工）

（1 箇所当り）

工種名称	形質寸法	単位	数量
硬質塩化ビニル管 撤去工	φ 25	m	0. 50
撤去管切断工	φ 25	口	1. 00

(22) 仮管消火栓設置撤去工

- ア. 仮管消火栓設置撤去工は、仮管部に仮消火栓を設置し、本体工事完成後に当該仮消火栓を撤去する工事に適用する。
- イ. 仮管消火栓材料のうち、鋳鉄管材料、ボルトナット、消火栓、弁室材料については、3回償却とする。また、当該部分の撤去については、仮設配管の再使用目的撤去を標準とする。
- ウ. 仮消火栓の鉄蓋及び弁室については、それぞれ円形鉄蓋、レジンコンクリートブロックを標準とする。
- エ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。
- オ. 施工フローは下記を標準とする。



- (注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	
			車道	歩道
舗装切断工	アスファルト	m	3.32	
舗装版直接掘削積込工		m ²	2.16	
管路掘削工		m ³	1.43	1.50
管路埋戻工	改良土	m ³	0.59	0.83
管路埋戻工	発生土	m ³	0.40	0.62
残土処分工		m ³	0.59	0.77
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.14	0.06
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.44	0.11
市道仮復旧工		m ²	1.08	
弁室類築造工	設置・撤去	箇所	1.00	
仮管撤去工（铸铁管）	再使用あり	m	※ 1	
一次本復旧工		m ²	1.08	
K形継手工		箇所	2.00	
K S形継手工		箇所	1.00	
消火栓設置工	設置・撤去	箇所	1.00	
仮ビニル管布設工		m	1.00	
铸铁管据付工		m	※ 1	
給水管撤去工	ビニル管 再使用なし	m	1.00	
ビニル管処分工		m	1.00	
仮管消火栓材料		箇所	1.00	

※ 1 : φ 75 : 0.63、φ 100 : 0.66、φ 150 : 0.69とする。

キ. 標準材料表

(1 箇所当り)

資材名称	単位	数量			備考
		φ 75	φ 100	φ 150	
消火栓（単口）	個	1			3回償却
T頭ボルトナットフランジ用異形（仮管用）	本	4			3回償却
G F ガスケット	個	1			
円形消火栓鉄蓋（単口）	個	1			3回償却
円形鉄蓋用ボルトナット	組	1			3回償却
調整リング	個	2			3回償却
レジンコンクリート上部壁（A）	個	1			3回償却
レジンコンクリート下部壁（C）	個	1			3回償却
レジンコンクリート底版（P）	個	1			3回償却
V C ソケット	個	2	2	2	
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	m	1	1	1	
D K 継輪	個	1	1	1	3回償却
D K 浅層埋設形フランジ付T字管 G F 形	個	1	1	1	3回償却
T頭ボルトナット（K・K F 形用）※ ¹	本	12	12	18	3回償却
K ゴム輪	個	3	3	3	
K（A）押輪	個	2	2	2	3回償却
K 離脱防止押輪	個	1	1	1	3回償却

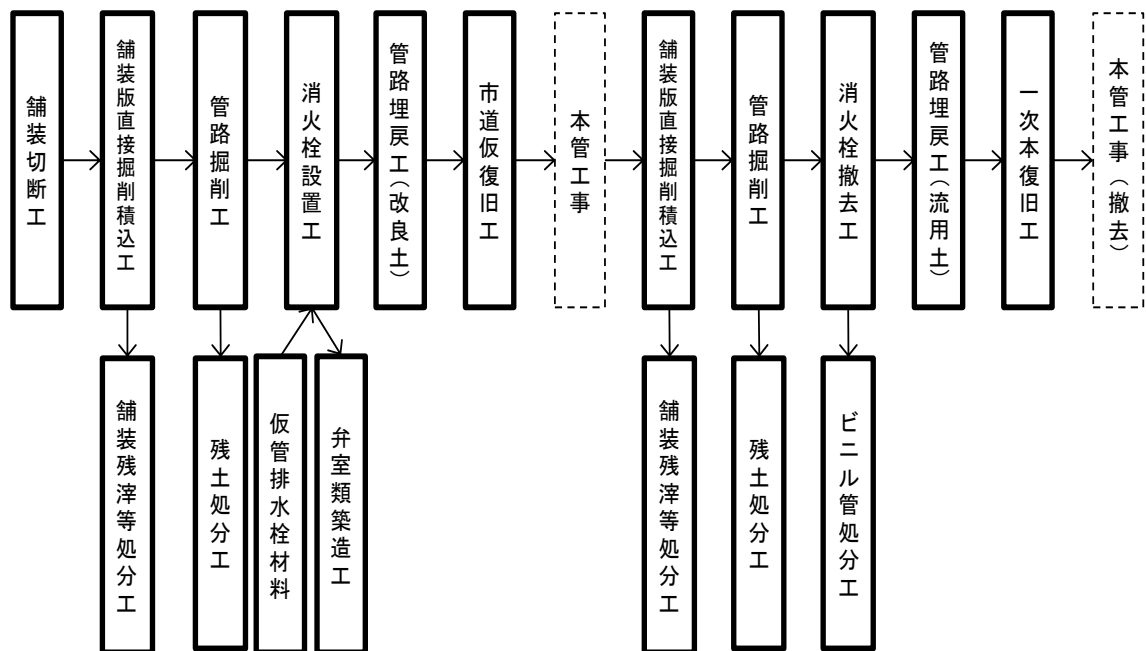
※ 1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150 : M20×100とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、平成26年4月土木工事共通仕様書（標準図書）参照

(注) 2. 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1/3とする。

(23) 仮管排水栓設置撤去工

- ア. 仮管排水栓設置撤去工は、仮管部に仮排水栓を設置し、本体工事完成後に当該仮排水栓を撤去する工事に適用する。
- イ. 仮管排水栓材料のうち、鋳鉄管材料、ボルトナット、消火栓、弁室材料については、3回償却とする。また、当該部分の撤去については、仮設配管の再使用目的撤去を標準とする。
- ウ. 仮排水栓の弁室については、レジンコンクリートブロックを標準とする。
- エ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。
- オ. 施工フローは下記を標準とする。



- (注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	
			車道	歩道
舗装切断工	アスファルト	m	2.32	
舗装版直接掘削積込工		m ²	1.50	
管路掘削工		m ³	0.99	1.05
管路埋戻工	改良土	m ³	0.41	0.58
管路埋戻工	発生土	m ³	0.28	0.43
残土処分工		m ³	0.41	0.54
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.10	0.04
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.30	0.08
市道仮復旧工		m ²	0.75	
弁室類築造工	設置・撤去	箇所	1.00	
仮管撤去工（铸铁管）	再使用あり	m	※1	
一次本復旧工		m ²	0.75	
K形継手工		箇所	2.00	
K S 形継手工		箇所	1.00	
消火栓設置工	設置・撤去	箇所	1.00	
仮ビニル管布設工		m	0.50	
铸铁管据付工		m	※1	
給水管撤去工	ビニル管 再使用なし	m	0.50	
ビニル管処分工		m	0.50	
仮管消火栓材料		箇所	1.00	

※1：φ75：0.63、φ100：0.66、φ150：0.69とする。

キ. 標準材料表

(1 箇所当り)

資材名称	単位	数量			備考
		φ75	φ100	φ150	
消火栓（単口）	個	1.00			3回償却
T頭ボルトナットフランジ用異形（仮管用）	本	4.00			3回償却
G F ガスケット	個	1.00			
排水栓鉄蓋	個	1.00			3回償却
調整リング	個	2.00			3回償却
レジンコンクリート上部壁（A）	個	1.00			3回償却
レジンコンクリート下部壁（C）	個	1.00			3回償却
レジンコンクリート底版（P）	個	1.00			3回償却
V C ソケット	個	1.00	1.00	1.00	
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	m	0.50	0.50	0.50	
D K 継輪	個	1.00	1.00	1.00	3回償却
D K 浅層埋設形フランジ付T字管 G F 形	個	1.00	1.00	1.00	3回償却
T頭ボルトナット（K・KF形用）※1	本	12.00	12.00	18.00	3回償却
K ゴム輪	個	3.00	3.00	3.00	
K（A）押輪	個	1.00	1.00	1.00	3回償却
K 離脱防止押輪	個	1.00	1.00	1.00	3回償却
D K 栓	個	1.00	1.00	1.00	3回償却

※1：φ75：M16×85、φ100・φ150：M20×100とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、平成26年4月土木工事共通仕様書（標準図書）参照

(注) 2. 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1/3とする。

(24) 試験掘工

ア. 試験掘工の各単価は、土木工事積算基準 I 積算資料編 第2章請負工事積算概要

第2. 工事費の積算 2. 間接工事費 を適用するものとする。

イ. 適用箇所は、幹線道路車道、一般道路車道、歩道、未舗装道路の4種類とする。

ウ. 残土の自由処分が必要となる場合は、標準数量表の残土処分工に代えて、残土運搬費及び、残土処分費を別途計上するものとする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板 I 型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

カ. 標準数量表（指定地処分）

(1箇所当り)

工種名称	単位	幹線道路車道		一般道路車道		歩道		未舗装道路	
		矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり
舗装切断工	m	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	-	-
舗装版直接掘削積込工	m ²	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	-	-
管路掘削工	m ³	1.32	2.28	1.34	2.30	1.40	2.36	1.44	2.40
残土処分工	m ³	0.72	1.68	1.10	2.06	1.28	2.24	1.44	2.40
管路埋戻工	m ³	0.72	1.68	1.10	2.06	1.34	2.30	1.44	2.40
舗装残滓等処分工 (アスファルト)	m ³	0.12	0.12	0.10	0.10	0.04	0.04	-	-
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	0.60	0.60	0.24	0.24	0.12	0.12	-	-
矢板工（設置・撤去）	m	-	4.60	-	4.60	-	4.60	-	4.60
一次本復旧工	m ²	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	-	-

キ. 標準数量表（自由処分）

(1箇所当り)

工種名称	単位	幹線道路車道		一般道路車道		歩道		未舗装道路	
		矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり
舗装切断工	m	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60	-	-
舗装版直接掘削積込工	m ²	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	-	-
管路掘削工	m ³	1.32	2.28	1.34	2.30	1.40	2.36	1.44	2.40
管路埋戻工	m ³	0.72	1.68	1.10	2.06	1.34	2.30	1.44	2.40
舗装残滓等処分工 (アスファルト)	m ³	0.12	0.12	0.10	0.10	0.04	0.04	-	-
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	0.60	0.60	0.24	0.24	0.12	0.12	-	-
矢板工（設置・撤去）	m	-	4.60	-	4.60	-	4.60	-	4.60
一次本復旧工	m ²	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	-	-

※残土運搬費及び、残土処分費については、別途計上すること。